

## 令和 3 年度 実行計画

## (10) 北信地域 ～ 北信州 つなぎ育む 人・食・農 ～

## ■ 達成指標

重点 取組	達成指標	現状 (2016 年)	計画 (2021 年)	目標 (2022 年)
1	新規就農者数 (45 歳未満、単年度)	34 人	36 人	36 人
	中核的経営体数	1, 226 経営体	1, 286 経営体	1, 301 経営体
2	良食味米、業務用米等の栽培面積	535ha	641ha	650ha
	果樹戦略品種等の栽培面積	253ha	419ha	460ha
3	アスパラガスの新植・改植面積	89ha	128ha	135ha
	シャクヤクの栽培面積	53ha	59ha	60ha
4	基幹水利施設 (重要構造物) の整備箇所数	—	12 か所	13 か所
	畑地かんがい施設整備 (再整備) 面積	—	140ha	200ha
5	「おいしい信州ふード」SHOP 登録数	91 店舗	109 店舗	112 店舗
	農産物直売所の販売額	15.6 億円	16 億円	17 億円
6	多面的機能を維持発揮するための活動面積	3, 503ha	3, 584ha	3, 639ha
	新たに観光資源として環境整備された疏水等の箇所数	—	2 か所	2 か所

## 重点取組 1 : 経営向上をめざす優れた担い手の育成

- 「北信州農業道場」等による新規就農者の育成と多様な担い手の確保
  - ・市町村や農業委員会・JA等の関係機関が連携し、新規就農者の情報を共有するために就農推進連絡会議を開催 (2 回)、里親研修制度や農業次世代人材投資事業等の活用により新規就農者を支援
  - ・5年後の目標を明確化した里親研修生等 (5 名) について、就農計画作成時に経営シミュレーションを行い、就農後の経営安定に向けた課題解決支援を実施
  - ・意欲ある青年農業者を地域の担い手として養成するため、北信州農業道場の選択制講座 4 講座、品目別 3 コース (果樹、アスパラガス、キュウリ) を開催
  - ・女性農業者の農業経営の取組推進のため、「北信州農村女性のつどい」を開催
- 中核的経営体の確保と「カイゼン」等による生産性の向上
  - ・経営効率化のため、「カイゼン」による問題解決手法の実践を指導 (1 件)
  - ・営農組織の再編・創設に向けた支援 (2 組織) と新規設立農業法人の経営安定支援 (2 法人)
  - ・リーダー的農業者として農業経営士・農業士の資質向上を図るため、研修会・交流会を開催
  - ・生産性の向上を図るため、農業委員会及び農業女性団体と連携して、農業経営に携わる各世帯員が経営に参画できるよう、家族経営協定の締結を支援 (10 件)
- 農業法人など主要な経営体を支えるサポート体制の構築
  - ・重点指導農業者 (12 名) ごとに、県・市町村・JAによる「支援チーム」を構成し、課題解決に向けた支援を実施
  - ・県・市町村・JA・農業者組織で連携し経営の情報共有を行い必要に応じて経営勉強会を開催
- 多様な雇用労力の安定的確保
  - ・農福連携による障がい者雇用企業 2 社の農業生産活動等を支援
  - ・果樹労力補完の仕組づくりのため、企業等が参加する援農ボランティア事業を実施
  - ・ハローワーク等関係機関団体と連携し、農繁期の労働力補完体制の整備に協力
- 農地の利用集積 (農地中間管理事業の活用) による規模拡大の促進
  - ・市町村・農業委員会等関係機関・団体と連携し、実質化された人・農地プランに則った担い手への農地の集積や規模拡大の促進
  - ・農地中間管理事業による農地集積や規模拡大に合わせて、強い農業・担い手づくり総合支援事業等を活用した農業機械・施設等の導入を支援

## 重点取組2：米・果樹・きのこ 市場競争力のある強い産地づくり

- 需要に応じた米生産を基本に、良食味米や業務用米・酒米の生産拡大と収益性の高い米生産を推進
  - ・需要に応え、品質の高い米づくりを推進するため、追肥時期や収穫期などの予測情報を提供（10回）、また、コシヒカリの品質向上対策として実証ほを設置（1か所）
  - ・良食味米の生産拡大を図るため、生産者との懇談会と巡回指導を実施
  - ・良食味米の生産出荷水準の維持向上のため、長野県原産地呼称管理制度「認定米」などの認定を支援
  - ・「コシヒカリ」の高温登熟による品質低下及び作期分散のため、「風さやか」を推進
  - ・業務用米（「ほむすめ舞」「あきだわら」）の生産拡大を図るため、JAと連携して実証ほを設置（3か所）して栽培法を確立
  - ・酒米（「金紋錦」「山恵錦」など）は酒蔵の要望に応じた品質を確保するため、農業者に対して現地指導を実施、市町村等と連携して地域ブランド酒の消費拡大のための情報交換とPR素材を提供
  - ・水田センサーやドローンによる追肥等のスマート農業の推進
- 収益性の高い効率的な果樹経営と高品質な果実づくりを推進
  - ・りんご「シナノリップ」の普及推進を図るため、日焼け対策・着色管理時期の現地検討会を開催（2回）
  - ・ぶどう「ナガノパープル」・「シャインマスカット」の品質向上・安定生産のための講習会を開催（3回）するとともに、「シャインマスカット」で省力化技術の検討を行うための技術実証ほ（2か所）を設置
  - ・ぶどう「クイーンルージュ®」の現地適応性を把握するためのモデル園を設置（6か所）
  - ・すもも「シナノパール・麗玉®」の産地育成のためのモデル園を設置（1か所）
  - ・防除徹底による核果類細菌性病害の軽減を図るため、実態調査・指導会を開催（2回）
  - ・令和元年東日本台風で泥土が堆積した樹園地で、生育に与える影響について調査を実施
  - ・農業者の知識習得と栽培技術向上のため、果樹冬期大学を開催
  - ・産地生産基盤パワーアップ事業や果樹経営支援対策事業等により、ぶどう等の高品質安定生産と長期出荷を進める果樹棚・冷蔵庫・加温機等の導入、高級すもも等の生産拡大を図る果樹棚等の整備及びりんご等樹園地の計画的な更新を支援
- きのこ経営管理力の強化、JGAP等安全・安心・環境対策を支援
  - ・きのこ生産者のJGAP取得を推進するための研修会等の開催や内部監査を支援（1回）
  - ・害菌発生等によるロス率低減対策のための現地調査を実施（3回）
  - ・異物混入防止のため、巡回指導を実施（2回）
  - ・需要にあわせた生産の推進と生産に応じた他産業・他作物部門との雇用労働力の調整を支援
  - ・使用済み培地の再利用や堆肥化、バイオマス資源等としての適正な利活用推進のため、研修会を開催（1回）
- 環境にやさしい農業やGAP等農産物の安全・安心な取組を強化
  - ・生産部会や生産法人への「信州の環境にやさしい農産物認証制度」の周知及び施肥・防除計画作成の相談等を通じて、新たな取組者を3件確保
  - ・国際水準GAPの理解の促進を図るため、生産部会の総会や研修会等において、情報を提供
  - ・GAP手法の取組を推進するため、生産部会等への巡回指導（2回）、説明会（1回）を開催
  - ・環境保全型農業直接支払交付金等の周知と取組を支援

## 重点取組3：野菜・花き・畜産 特色ある多彩な農産物等の生産強化

- アスパラガス産地の再構築と果菜類（ズッキーニ・キュウリ等）を拡大
  - ・アスパラガスの生産量回復のため、雨よけ施設・排水対策・土壌病害対策に関する技術実証

ほを設置（6か所）し、研修会等を開催（4回）するとともに、かん水、雨よけ施設の整備を信州農業生産力強化対策事業等により支援

- ・ズッキーニ・キュウリの安定生産を図るため、耐病性・商品性に優れる多収品種導入を検討する品種試験を実施（2か所）。また、キュウリの新規栽培者を対象とした講習会の開催（3回）

#### ○ シャクヤクの有利販売と露地花き品目（ソリダゴ・ヒペリカム等）を拡大

- ・シャクヤクの促成栽培による早期出荷を図るための施設化を推進するとともに、品種の多様化を進めるため、展示ほを設置（1か所）
- ・省力的で特色ある宿根草などの多品目栽培を進めるため、新規の栽培者のモデルほ場を設置（2か所）し、栽培技術向上に向けて支援

#### ○ 地域ブランドである畜産物の安定生産を支援

- ・畜産農家・法人の経営安定を図るとともに、施設の活用及び担い手の確保・育成を推進
- ・信州プレミアム牛肉の増産を目指したET子牛の生産頭数を確保(36頭)するとともに、信州あんしん農産物(牛肉)生産認定農場の取組を支援
- ・農場における飼養衛生管理を徹底し、豚熱や鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病の発生予防とまん延防止対策を行うとともに、発生を想定した防疫演習を実施

#### ○ ぼたんこしょう等の地域の特色ある伝統野菜の安定生産を支援

- ・坂井芋の系統選抜に向けた試験ほ場を1か所設置するとともに、生産者の意識統一のための検討会を開催（2回）
- ・栽培拡大と採種体制整備に向けた、ぼたんこしょう・前坂大根等の周知と採種ほ場の巡回指導を実施

### 重点取組4：持続的な農業生産活動を支える基盤整備

#### ○ 基幹水利施設の機能を維持するための機能保全計画の策定と整備・更新

- ・柳原地区（飯山市）、大沼池地区（山ノ内町）、栄地区（栄村）の水路トンネル、八ヶ郷地区（中野市）、中野地区（中野市）の幹線水路などの重要な農業用施設で長寿命化を図るため、整備・更新工事を実施

#### ○ 畑・樹園地の収益性を維持し、高めるための畑地かんがい施設の整備・更新

- ・りんご、ぶどう等の収益性・品質を高めるため、畑地かんがい施設の老朽化が著しい中野西部地区（中野市）でポンプ等の整備・更新工事を実施

#### ○ 担い手への農地集積につながる農地の耕作条件の改良・改善

- ・中野市、飯山市、山ノ内町で担い手への農地集積を推進するため、地域で目指す営農計画に合致した整備を検討

### 重点取組5：地元「食」の魅力の共有・発信と地消地産の推進

#### ○ 「おいしい信州ふード」・地元農産物の魅力の共有と県内外への発信

- ・地元農産物等の魅力発信に向け「おいしい信州ふード」SHOPの登録を推進
- ・伝統野菜の知名度の向上・利用拡大に向けた料理講習会を開催（1回）

#### ○ 飲食店、宿泊・学校給食施設等における地元農産物の食材利用・地消地産を促進

- ・関係機関団体一体となって、飲食店等における地元食材を活用したフェアを開催（アスパラガス等 計4回）するとともに、給食事業者の栄養士・調理師等を対象に料理提案会を開催（きのこ1回）
- ・農村女性ネットワークや商工会議所と連携し、地元食材を使った料理講習会等を開催（2回）

#### ○ 学校や地域において、次代を担う子どもたちを中心に食育を推進

- ・郷土料理を伝えるための講習会を開催（1回）
- ・農村生活マイスター協会、飯山女性団体連絡会と連携し、小中学生及び高校生を対象に食育活動を実施（各1回）

○ **地元農産物の販売拠点となる農産物直売所の機能強化を支援**

- ・直売所出荷者（定年帰農者含む）の生産技術向上を図るため、栽培講習会を開催（3回）
- ・顧客の信頼の確保のため、直売所のGAPの取組を推進（4組織）するとともに、適正な農薬・肥料の使用と食品表示を啓発
- ・宿泊施設等への地元農産物供給など直売所の機能強化に向けた研修会を実施

○ **農業者と2次・3次事業者が連携した6次産業化等による農産物の付加価値化を支援**

- ・地域推進員やプランナーと連携して、6次産業化に向けた相談活動を実施するとともに、総合化事業計画策定及び実行の支援
- ・6次産業化を推進するため、農業者・事業者等を対象とした6次産業化セミナーを開催（1回）
- ・関係市町村等が行う雪中貯蔵・雪室熟成による付加価値化の取組を支援

**重点取組6：農村が有する多様な資源の維持・活用と農村の活性化**

○ **農業・農村の多面的機能の維持や農業生産活動の継続に向けた地域ぐるみの共同活動を支援**

- ・飯山国営土地改良区の農地（356ha）を適切に保全するため、多面的機能支払事業の取組みに着手できるよう飯山市と連携して説明会や検討会を実施
- ・中山間地域等直接支払事業による自律的かつ継続的な農業生産活動や、棚田振興計画に基づく加算措置等の活用を支援

○ **中山間地に立地する農村の保全（ため池・地すべり防止施設・水路の保全）**

- ・地すべり防止区域（上境・分道・後谷・堂平・太田入・間方）において、調査解析を行うとともに、床固工、法面補強工、横孔ボーリング工等の対策工事を実施
- ・地すべり防止区域内の安全性を確保するため施設の老朽度を調査し、梨久保・小割・道光寺の長寿命化計画を策定
- ・ため池耐震対策に係る優先度の高い永田地区（中野市）のため池工事の実施、管内ため池の洪水吐調査等
- ・農村地域の安全・安心を確保するため、ため池のハザードマップ整備等（中野市、飯山市、山ノ内町）を支援
- ・近年の豪雨等による湛水被害を防止するため、木島地区（飯山市、木島平村）の湛水防除計画の策定及び国への採択申請
- ・融雪時に多く発生する山腹水路の崩落・閉塞等に備え、雪に強い水路を栄地区で整備

○ **荒廃農地の発生防止や再生・活用と野生鳥獣対策を支援**

- ・農地の有効利用を図るため、農地利用最適化交付金により農業委員会の活動を支援
- ・市町村が作成する鳥獣害防止計画の改訂支援及び鳥獣被害に強い集落の育成に向けた検討会を開催（2回）
- ・電気柵の適正な管理を図るため、市町村と連携しパトロールを実施
- ・ハクビシンによる被害防止を図るため、対策モデル展示ほを設置（1か所）
- ・ニホンジカやイノシシ等からの被害を防止するため、侵入防止柵を整備するとともに、集落ぐるみでの野生鳥獣被害防止の取組を支援

○ **地域住民の参加による農村コミュニティの活性化を支援**

- ・農業者だけでなく地域住民も参加する共同活動の拡大や継続を支援するため、市町村と連携して多面的機能支払事業による水路の保全や景観形成活動を推進

○ **農業資産・農村資源を観光等に活用した農村の活性化を推進**

- ・疏水・ため池・棚田などの農業資産を活用した農業・観光の情報を発信するため、市町村と連携して農業資産カードの作成・スタンプラリーの実施及び情報発信看板の設置
- ・野沢温泉村等において、農業用水を利用した小水力発電の取組を支援
- ・市町村・農村生活マイスター協会等による農業体験活動や「食」・「食文化」をテーマとしたツーリズム等の実施を支援